

高倉だより



評価特集号

平成26年3月19日

京都市立高倉小学校

「笑顔・あいさつ」のあふれる学校に
平成25年度 後期学校評価結果をお知らせします。

後期もアンケートへのご協力ありがとうございました。前期同様のアンケートをとらせていただき、児童・保護者・教職員それぞれの結果について教職員が分析し、その結果を学校関係者評価として学校運営協議会の皆様にご意見をいただきました。アンケート結果とともに分析結果・学校関係者評価についてご報告いたします。

<アンケート項目（保護者・教職員）>

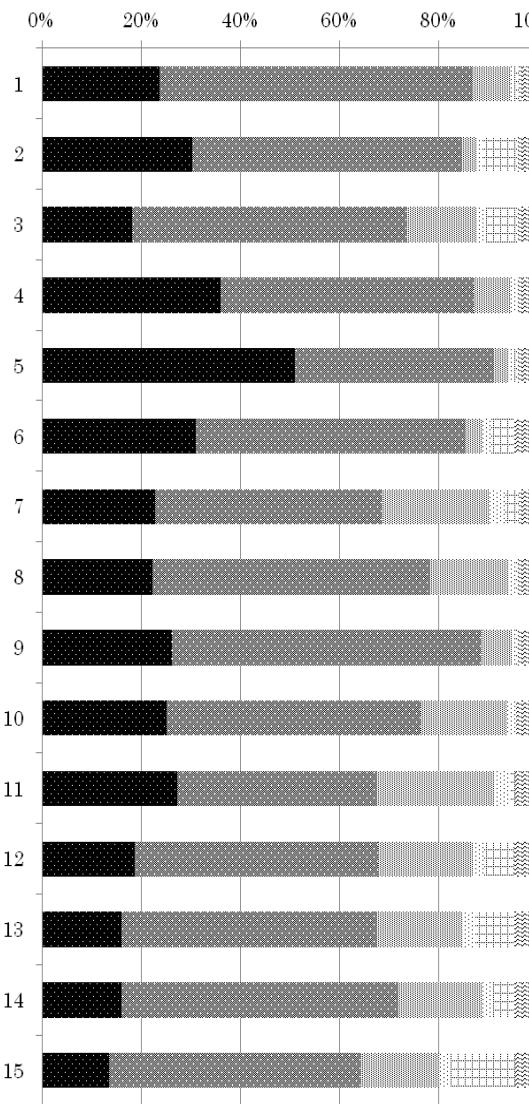
- 1 学習内容を理解し、基礎的な学力を身につけること
- 2 教師が「わかる授業」を目指して指導法を工夫すること
- 3 意見をしっかりとともち友だちと話し合うこと
- 4 家庭で宿題を中心とした学習を毎日きちんとすること
- 5 楽しく学校に通うこと
- 6 一人一人が大切にされ認められる学校であること
- 7 一生懸命打ち込むものがあること
- 8 あいさつすること
- 9 学校のきまりや約束をしっかり守ること
- 10 早寝、早起き、朝食といった生活習慣が身についていること
- 11 進んで体を動かしたりスポーツ活動に参加したりすること
- 12 地域の伝統文化や産業について自ら学ぶ学習を進めること
- 13 学習を通して、地域の方々とふれ合えること
- 14 学校と保護者が子どもの成長や課題を共有すること
- 15 スマイル21プラン委員会（学校運営協議会）の取組が、子どもたちの学びを広げていくこと

■よく出来ている（A）	■大体出来ている（B）
■あまり出来ていない（C）	■出来ていない（D）
■わからない（E）	≈無回答（F）

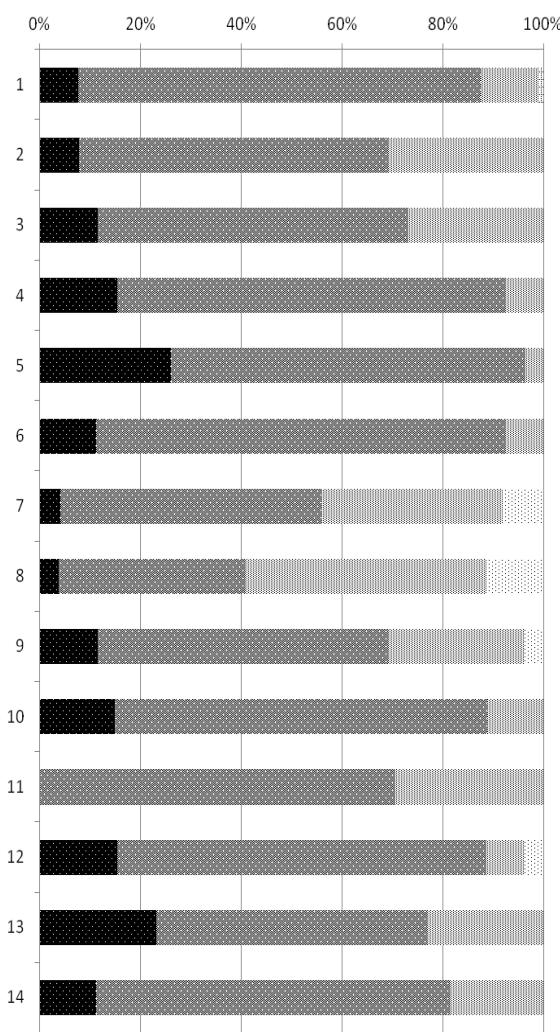
「確かな学力」（アンケート番号：1～4）

- ・アンケート結果だけでなく、各種学力調査の結果を見ても概ね良好と言えるが、一層の充実を目指す必要があると考える。
- ・教職員の「『わかる授業』を目指して、指導法を工夫すること」の実現度が低い。これは教師自身が校内研究や若年研修として研究授業等に取り組んだり、総合教育センターや研究会活動で研修を積み重ねて指導力向上を目指したりしているものの、自己の指導力向上を目指しているためととらえている。
- ・「自分の考えをしっかりとともち、友だちと話し合いをすること」については、約70%の肯定的な回答が出ているものの、今日的な課題の一つであるだけに、一層の充実を目指していくたい。

【保護者】



【教職員】



	プラス評価		マイナス評価		その他	
	A	B	C	D	E	F
1	24%	63%	7%	1%	1%	4%
2	30%	54%	3%	1%	7%	4%
3	18%	56%	14%	2%	7%	4%
4	36%	51%	7%	2%	0%	4%
5	51%	40%	3%	1%	1%	4%
6	31%	54%	4%	1%	5%	5%
7	23%	46%	21%	3%	3%	4%
8	22%	56%	16%	1%	0%	4%
9	26%	63%	6%	1%	1%	4%
10	25%	51%	17%	2%	0%	4%
11	27%	40%	24%	3%	1%	4%
12	19%	49%	19%	2%	6%	5%
13	16%	52%	17%	3%	8%	5%
14	16%	56%	17%	2%	4%	5%
15	14%	51%	16%	2%	13%	4%

	プラス評価		マイナス評価		その他	
	A	B	C	D	E	F
1	7%	78%	11%	0%	4%	0%
2	7%	59%	30%	0%	4%	0%
3	11%	59%	26%	0%	4%	0%
4	15%	74%	7%	0%	4%	0%
5	26%	70%	4%	0%	0%	0%
6	11%	81%	7%	0%	0%	0%
7	4%	48%	33%	7%	7%	0%
8	4%	37%	48%	11%	0%	0%
9	11%	56%	26%	4%	0%	4%
10	15%	74%	11%	0%	0%	0%
11	0%	70%	30%	0%	0%	0%
12	15%	70%	7%	4%	4%	0%
13	22%	52%	22%	0%	4%	0%
14	11%	70%	19%	0%	0%	0%

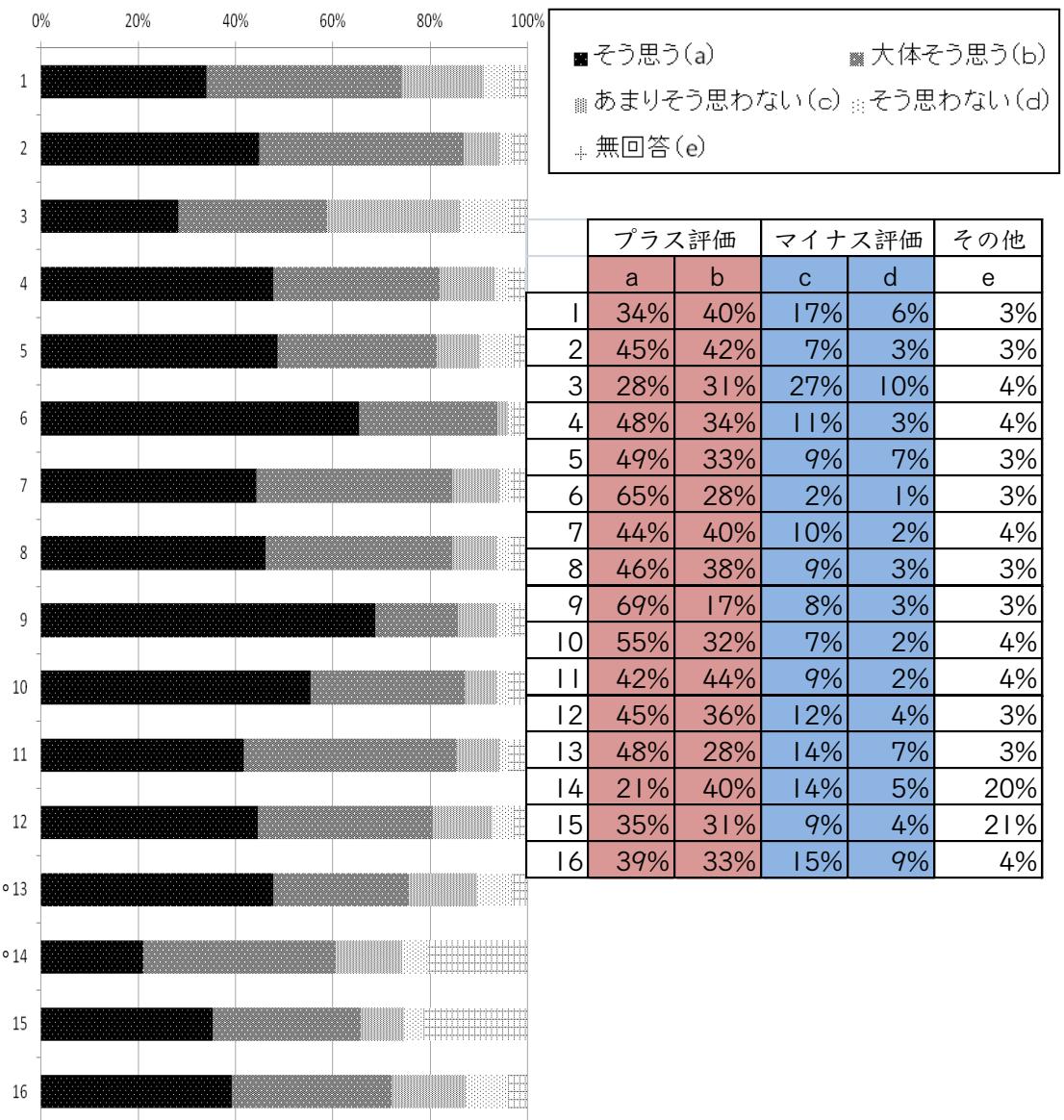
「健やかな体」（アンケート番号：10～11）

- ・「子どもに早寝、早起き、朝食といった基本的な生活習慣が身についていること」の重要度は高いが実現度が低い。意識付けできるように子どもと保護者に働き続けることが大切である。
- ・「子どもがすすんで体を動かしたり、スポーツ活動に参加したりすること」について、児童は76%ができているとしているが、保護者や教職員の実現度は児童よりも低い。もっと日頃からみんなで体を動かすことができるような取組をするなどの手立てが必要である。

ご協力
ありがとう
ございました！

<アンケート項目（児童）>

- 1 勉強が楽しい。
- 2 毎日の授業がよく分かる。
- 3 授業中、自分で考えたことをすすんで発表している。
- 4 家で、宿題やおうちできめた学習をしっかりとっている。
- 5 学校に来るのが楽しい。
- 6 友だちを大切にしている。
- 7 友だちにだいじにされている。
- 8 先生は、言ったことや考えをよく聞いてくれる。
- 9 今、いっしょにけんめいしていることがある。
- 10 あいさつができる。
- 11 学校のきまりややくそくをしっかり守っている。
- 12 早寝早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしている。
- 13 自分からすすんで体を動かしたりスポーツ活動に参加したりする。
- 14 地域や伝統文化の学習で自分ですすんで調べたりまとめたりする。
- 15 地域の人から教えていただいたことがよくわかる。
- 16 大人の人（おうちの人や先生）といろいろな話や相談をする。



「豊かな心」（アンケート番号：5～9）

- ・「子どもが楽しく学校に通うこと」については、保護者や教職員の実現度が高いが、児童自身はそれよりも低い。子ども自身が、学ぶことや学校と一緒に生活を送ることの満足度が高められるようにしたい。
- ・「子どもがあいさつをすること」については、前回同様、子どもや保護者の実現度は高いが、教職員の実現度は低い。親しい人には挨拶をしているが、そうではない人に自ら挨拶をするという意識が低い。

改善策としてあいさつ運動をしているときに来ていない子どもたちにも参加するよう呼びかけ、挨拶をする習慣をつけるようにすることや教職員が普段からもっとしっかりと挨拶をすることが挙げられる。

・「子どもが学校のきまりや約束をしっかり守ること」については、年度当初、5つの「あ」や高倉帽・名札を身につけることの意識はできていたが、だんだん意識がおろそかになってきた。教職員から意識して子どもたちに指導することも必要だが、子どもたちが常に学校のきまりや約束を意識できるようにすることが必要である。児童会などで子どもたちから学校をよりよくするためにどうすればよいかを考えるような設定も一案である。子どもたちが受け身ではなく、自分たちの問題だと捉えられるようなしきけを考えていきたい。

「特色のある教育」（アンケート番号：12～15）

- ・「地域のことや昔から伝わることについての学習で、地域の人から教えていただいたことがある」については、全学年が授業の中でお世話になっているにもかかわらず、子どもたちの意識が低い。子どもたちに「地域の人」というイメージや意識をつけることができるよう地域の人に授業をしていただく際にひと工夫入れたい。

また、質問項目も検討する必要がある。

- ・「スマイル21プラン委員会（学校運営協議会）の取組が、子どもたちの学びを広げていくこと」については65%の保護者ができていると思っているが、まだまだ認知度を上げる必要もある。そのためにスマイル21プラン委員会の取組を学級通信や高倉だより、高倉小学校のホームページ等を使って、発信していく必要がある。また、来校された際にスマイル21プラン委員会の取組をまとめたものが分かるような掲示板を作ること等も必要である。

* * * 学校運営協議会 理事会より * * *

- ・挨拶については、防犯上、知らない人に声をかけられた時に気を付ける指導をされていると思うので、難しいと思う。見守り隊として立っていると、気持ちよく挨拶できる子どももいるので、顔見知りを増やすことが大切であろう。
- ・いじめに関するアンケート調査を実施しているとのことだが、結果に対して保護者が安心できる対策や取組を今後も期待する。
- ・高倉教育推進に向けて、地域として協力できることは今後も協力していく。

今回のアンケート結果や教職員自己評価に対する学校運営協議会の方々や保護者の声及び各種学力調査の結果等を参考にし、課題を次年度の取組に生かしていきたいと思います。又、コミュニティスクールとして、地域・保護者との連携を大切にした取組を一層充実発展させ、「知・徳・体」にバランスの取れた子どもの育成を目指していきたいと思います。